

新居浜市こども計画（案）に関する意見募集の結果について

令和8年2月26日

新居浜市福祉部こども局こども未来課

- 1 意見募集期間 令和8年1月5日～令和8年2月6日
- 2 意見提出人数 2人
- 3 意見提出件数 5件
- 4 意見の概要と意見に対する考え方

番	提出された意見の概要	意見に対する考え方
1	保育園とベビーシッター事業の連携について 本計画では、子育て家庭のニーズの多様化や、仕事と子育ての両立支援が重要な柱として示されています。一方、現場では「突発的・短時間の保育ニーズに対応しきれない」「既存の制度では利用しづらい」といった声も多く聞かれ、制度と日常の暮らしの間にギャップを感じる場面があります。 <u>その補完策の一つとして、保育園とベビーシッター事業を連携させる視点は、今後さらに検討されてもよいのではないかと感じています。</u>	突発的・短時間の保育ニーズへの対応としては計画案59・60頁に事業を掲載しております。しかしながら、ご指摘のとおり利用しづらいとのご意見をいただくことはございます。 今後も課題観をもって対応してまいります。
2	潜在保育士・スポット保育士の活用について 保育現場では慢性的な人手不足が過大となっていますが、保育士資格を持ちながら、子育てや家庭の事情により現場を離れている潜在保育士も少なくありません。 <u>潜在保育士を、ベビーシッターや園のスポット保育士として柔軟に活用することで、</u> ・保育現場の人手不足の緩和 ・保育士一人ひとりの負担軽減 ・多様な働き方の実現 <u>につながる可能性があると考えます。</u>	潜在保育士の活用につきましては、保育現場において課題となっております保育士不足の緩和、保育士の負担軽減のため有効な手段でありますので、本計画の「基本方針2 基本施策3 保育士等の確保と教育・保育の質の向上」で、潜在保育士の就労促進につながる各種補助事業など、保育士等確保に向けた支援事業に取り組むことと記載しております。
3	ベビーシッター制度の活用と実証的な取組について ベビーシッターは、多様な子育てニーズに対応できる有効な手段である一方、利用料金が高いことが利用のハードルになっている現状があります。 <u>そのため、企業主導型ベビーシッター利用支援事業などの既存制度を活用しながら、地域でどのように使いやすくしていけるかを、小規模に検討していく視点が重要でないかと考えます。</u> 市が直接事業を実施するのではなく、既存制度に対応している事業者や地域の保育関係者と連携しながら、 ・利用者にとっての使いやすさ ・現場での運用上の課題 ・保育人材の確保・活用との両立 <u>について、実証的に整理していくことで、今後の施策検討に資する知見が得られるのではないのでしょうか。</u> <u>また、こうした実証的な取組は、既存の保育現場や地域の子育て支援の取組の中で、小規模に始めていくことが現実的であると考えます。</u> <u>日頃から子育て支援や保育の現場に継続的に関わる立場から、制度の使いづらさや現場で生じやすい課題を把握しながら検証を重ねていくことで、実態に即した取り組みにつながっていくのではないのでしょうか。</u>	多様な子育てニーズに対応できるよう、地域全体のニーズと資源を把握し、新たな担い手の発掘・養成とネットワーク化を図ることについて、計画等への記載を検討いたします。

4	子育て支援に関する窓口の一元化の中に、「こども・子育ての機能を集約した複合施設を整備し」とありますが、<u>想定されている施設の内容や、取組などがありましたら記載していただければ、より実効性のある計画になると思います。</u>	ご指摘いただきました意見を踏まえ、内容を精査して、本編に反映いたします。
5	概要版は、イラストやカラーにより目を引くような構成となっておりますので、こども計画をより多くの人々に関心や興味を持ってもらうためにも、<u>本編につきましてもイラストなどを描いてみてはいかがでしょうか。</u>	ご指摘いただいた意見を踏まえ、本編についても余白にイラストを追加いたします。